



**こんにちは
ロータリー**

日立ロータリークラブ

こんにちわ

ロータリー



日立ロータリークラブ

目 次

はじめに	2
①ロータリーがロータリアンに望むこと	2
②ロータリアンはロータリーに何を期待出来るか	4
ロータリーの創生とその思想の変遷	6
①ロータリーの創生と発展	6
②ロータリーの思想とその変遷	9
③ポール・ハリスの言葉	12
④忘れられぬロータリーの人々	12
ロータリー奉仕の四大部門	15
①クラブ奉仕	15
②職業奉仕	19
③社会奉仕	20
④国際奉仕	22
ロータリーの組織とロータリアンの心構え	27
①ロータリーの組織	27
②ロータリアンの心構え	29
③ロータリー用語	31
終りに	35

序に変えてお願い

ロータリー入門手引き書の積りで書いたのですが、総花的に全般のことを羅列して了ったので、反ってお判り難いものになりました。

ロータリーの概略のことは記されたと思いますのでお読み下さい。そして疑問の所を取り出して下さい。その点を先輩にお聞き下さい。先輩の説明を聞いてロータリーを理解することを望みます。

ロータリーはむずかしいものではないのです。ロータリーを楽しくなって下さい。

パストガバナー 田中 達次郎

こんにちわ。ロータリー

はじめに

ロータリーは別世界のものではありません。普通の地域社会と密接したものなのです。

生きてゆく人間が互いにその生存の意義を認識して、互いに尊敬し合って、それぞれの地位を保持しつつ、共存共栄を願って、平和な世の中を創り出そうと努力する団体がロータリーです。

(1) ロータリーがロータリアンに望むこと

ロータリークラブの組織は、一業一人会員の鉄則を厳重に守ることを要請しています。地域社会において自他共に認める職業を持ち、地域との共存を求める人達の集団、これがロータリーです。

ロータリーがロータリアンに望むこと

現代社会においては、自分のみ栄え永続することは許されません。自分の生活だけを考えて、周囲の人のことは考えぬというのは、自分の孤独を認めねばなりません。自分のことのみ望むのは、他人を排することであり、人より離れ住むことは、人でなしの世界に住むことだ。と先人は言っております。

ロータリーは、その初期においては、自分の職業を存続させ、繁栄させるには、相手の広いことがよい。それも異職業の友との話し合いが有効であり、そして互いにその取扱い面にあってもそれが有利だ、と考えたようです。

約4分の3世紀を経た現在の社会機構にあつては、その組織は複雑多岐となつて、一業種が独自の立場にこもつて、他をよせつけぬということはありません。互いに関連し、互に因果関係を保ち、バランスのとれた社会を形成してゆかねばならなくなりました。自分のことは自分で判らぬことが多く、批判の眼を他から受けなければ、自分の独りよがりの途に迷っているのに気の付かぬことが多いのです。自分の職務の責任とよく言われるが、それに気付くのは、他人から見て、指摘され

るところであります。このことをロータリーでは、「相手の身になって、相手の手助けを考えて」と言っております。

(2) ロータリアンはロータリーに何を期待出来るか

自分が永く生き続け、自分の種族が永く栄えることは万人の望むところです。このため常時考え、計画し、希望してやまないのでしょう。然し現代社会にあっては、人間は自分だけで生きてゆくことは出来ません。複雑な経済機構のうちにあつて、互に関連した仕組みのうちの一員として生きてゆけるのです。このためには 自分のことのみ考えて、他人のことはどうでもよいということはありません。

自分の行動を自分の意欲にのみ立脚して律することの不合理なことは理解出来るとしても、これを自分の立場からのみ判断しようとする、ことの前後を誤ることなしとしません。

ロータリアンはロータリーに何を期待出来るか

この反省の機会を与える場がロータリーです。

共に社会を組み立てている友から見て、自分の行為を見直して貰う必要があります。自分の姿を写す鏡となつて貰うことが大切です。

自分の主張する所を洗い直して貰うチャンスを見出す、これこそロータリーの間であります。自分の立場を知つてくれて、良識を以つてこれを批判出来る友の集会であるロータリーこそ最も適した場であるといえましょう。互いの立場を理解し、批判し、忠告してくれるのは友であり、その友のいるのはロータリーであるので、素直な気持ちでお付き合いの機会をもち、反省自粛の姿勢をとりたいものです。

ロータリーの創生とその思想の変遷

(1) ロータリーの創生と発展

ロータリーは20世紀の初めに北米シカゴで結成されました。その当時の北米の状況はどういうものだったでしょう。

1871年（明治4年）10月にシカゴに大火災が発生しました。その焼失面積は火災史上第四位のもので、その後開かれた万国博覧会後の経済混乱期に陥ち入り、街には悪臭がみなぎり、シカゴ川は汚濁のたまり水という景観を示すようになりました。当然悪徳と腐敗の街というシカゴに張られたレッテルの下、そこに住む人々は喰うか喰われるか、死ぬか生きるか仇敵のように争い合っていたのでした。

この時、シカゴ市内に若い弁護士が事務所を開きました。地方から出て来た青年にはシカゴの刺激は強すぎました。そして今この世間の人の言うことは、そのまゝ、受

け入れ信用してよいだろうか。相手のためによかれと計ったことが、完全に理解して貰えているのだろうか、と憂えました。又、親しい友とてもない孤独の生活に苦しんで、心の許せる話相手を求めるにはどうしたらよいだろう、と苦しみました。そして、話し合える仲間とは、友達付き合いを基とした仲間であることであり、その話し合いも中庸を得た結論を求めるには、その仲間は同業のものより、むしろ異業種のうちから求める方が妥当であろう、という結論に達したのです。

かくて1905年（明治38年）2月23日の夜、4人の集會がもたれて論議の末、定期的に集まりを持つことを決め、「まず職業の違う者が集まろう。」と言うこととなったのです。

この呼びかけに応じて集まったのは

鋤山技師：ガスターバス・ローア

洋服商：ハイラム・ショーレー

弁護士：ポール・ハリス

石炭商：シルベスター・シール

であり、続いて参加したのは

印刷屋：ハリー・ラグルス

不動産業：ウィリアム・ジェンセン
でありました。かくて3月9日にシールの処に事務所を
置くこととなりました。

これがロータリーの誕生であります。

始めは集会は会員事務所を持廻りでやっていたが、会
員数も増加し、食事を共にするということから、6月か
らレストランを決めることとなりました。

ポール・ハリスは同様のクラブを他都市にも持ちたい
と考えるようになり、1908年にサンフランシスコにでき
ました。これが、ロータリークラブ第2号です。次第に
クラブの増設を見るようになり、1910年にはカナダにク
ラブが生まれ、1911年にはロンドンにつくられたのでし
た。その後拡大は続いて1977年現在、152の国家および
地域に17,000余のクラブ、81万余の会員数を示しており
ます。

日本に於いては、1920年（大正9年）10月に初めて東
京に創立され、（世界で855番目のクラブ）その後一時
国際ロータリーより脱退する悲運はありましたが、戦後
国際ロータリーに復帰して、次第に発展して、現在1,300
余クラブ、74,000余名の会員数に達しました。

日立ロータリークラブは、会員数23名を以って、昭和
28年6月に創立、同年6月22日に国際ロータリーに加盟
承認されました。これは日本国内で103番目であり、茨
城県内で2番目となります。第255地区内では4番目で
あります。因に地区では、水戸、宇都宮、足利、日立、
栃木、那珂湊、石岡、土浦の順に創立されております。

(2) ロータリーの思想とその変遷

クラブ結成当初の会員はいずれも故郷を遠く離れてシ
カゴに出てきた人であったが、常に家郷を思い、友情を
深め、互いの仕事を助け合おうというに過ぎなかったと
言われております。1906年1月に最初の定款が出来まし
た。それを見ると

- (イ) 会員の職業上の利益の増進。
- (ロ) 親交と社交のクラブに普通付帯する望ましい事柄
の増進。

(ハ) シカゴ市の最善の利益を振興し、会員間に市民としての誇りと忠誠の精神を鼓舞する。
となっておりました。

これに関して、ポール・ハリスは言っております。
「ロータリー初期の目標は利己であったと言う人がある。或いはそうであったのかも知れぬ。併し自分の生涯のうち、最も非利己的にして甘美であった時代は、1905年のシカゴクラブ員当時であると言っている人もあるのである」

其の後この理論は昇華して、自己の職業に励むことは地域より離れては成立しないということとなり、1911年に現在ロータリーのモットーとされている2標語が確認されたのでした。即、「超我の奉仕」と「最もよく奉仕するものは最も多くむくわれる」であります。

1913年には「ロータリー倫理訓」として11ヶ条が採用されましたが、これによってロータリーの互惠主義が他人への奉仕に変わったといわれます。

ロータリーの地域への奉仕として、1906年にシカゴ市に公衆休憩所を寄附したのが、地域社会への奉仕第一号とされておるのですが、クラブが各地に結成されるに伴

って、各クラブでその地域への寄附行為が盛んとなり競争するようになり、ロータリークラブは寄附団体の如き状態になりました。当然のことですが、職業を通しての奉仕と寄附行為による奉仕とはロータリーとして何れを重視するかという議論が台頭して来ました。この議論は続いて、いよいよ盛んとなりましたが、何等かの基準を作らねばならぬとして、1923年（大正12年）に社会奉仕に対する方針を示す決議が採択されました。これが決議第34号です。

これに基づいて、ロータリー会員は、各自の職業が有益であるとの認識の下に、奉仕の理想を鼓吹し育成することを要請されております。特に知り合いを拡めて奉仕の機会を作ること。職業の道徳的水準を高めること。そして各自の職業を通じて社会に奉仕すること。職業人の世界的親交によって国際間の理解と親善と平和を推進することを目的として活動に参加するのです。これが「ロータリーの綱領」の大要でして、この綱領を受諾してロータリークラブに入会を容認されておるのであります。

(3) ポール・ハリスの言葉

ハリスは折にふれて言っております。曰く。「ロータリーのごとき運動の発芽期としては20世紀の初頭ほど絶好の時期はなく、同時にそれを育成して確固たる方向を示すべき土地としては、この攻撃的なしかもエセ理屈の多いシカゴの地ほど適切な都市はなかった。」

曰く。(一業一人制のクラブはロータリーの専売ではない。) これらのものとロータリーの違うところは、奉仕の理想を追求する熱意のはげしさと強さにあるのだ。

曰く。一種類の花、一種類の色の花壇に何の面白さがあるろう。色々あってこそ人生に薬味がきくというものだ。

(4) 忘れられぬロータリーの人々

●ポール・ハリス

ロータリーの創始者。1947年逝去。

●チェスター・ペリー

ロータリーの組織を確立した。1910～1942年の32年間事務総長を務めた。

1960年逝去。

●アーサー・シェルドン

ペリーと同じ1908年に入会して、ロータリーの活動発展に尽力した。「最もよく奉仕する人は最も多く酬われる。」の提案者。

●ガイ・ガンデカー

1915年の文献「ロータリー通解」の著者。

1960年逝去。

●アーチ・クランプ

ロータリー財団の先駆であるロータリー資金制度の提唱者。1951年逝去。

●フランク・コリンズ

彼の演説より「超我の奉仕」の発想が出た。

●ハーバート・テラー

4つのテストを提案した。

●ジョージ・ミーンズ

1954～1972年の事務総長。日本のロータリー復帰に

尽力した。

日本ロータリーにおいては

○米山梅吉

日本にロータリークラブを初めて作り、ロータリーの発展に尽力した。昭和21年逝去。

○福島喜三次

米国グラスロータリークラブ会員であったとき、日本にロータリークラブを作ることに尽力した。

昭和21年逝去。

○手島知健 昭和43年逝去。

○小島雅一 昭和41年逝去。

○宮脇 富 昭和43年逝去。

ロータリー奉仕の四大部門

ロータリーでは、運動の目標として奉仕することを掲げておりますが、それを具体化するものとして、クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕の4つの部門を提唱しており、各部門に所属する委員会があります。クラブ会員はすべて何れかの委員会に配属されて、それぞれに奉仕に尽くすことを要請されております。会員各自が明確な奉仕の責任部門を持っており、遊撃隊はおらぬこと、その部門が一年毎に交替になって、ロータリー全般についての智識と経験とを積み重ねることが出来るのは、ロータリー組織の妙諦といえるでしょう。

(1) クラブ奉仕

ロータリーの発展と永続のためには、クラブとして、会員の心構えの基本としての舞台装置があります。このためにクラブ奉仕が求められております。

先ず、日々のロータリーを知り、ロータリーを楽しく

しましょう。

ロータリーは一業種一人制ですから、会員相互に未知の人が多いためです。この人達と早く知り合いになることが必要です。顔見知りとなって話し合えるようになることが望まれます。奉仕の機会として知り合いを拓めることと綱領の第一に記されております。

会合して同じ席につき同じ話題をもって話し合ひましょう。例会の最初に合唱するのは、ロータリーだよ、心を許して話し合う場なんだよ、という標認なんです。毎週一回の例会に出席するということは知り合いを作ることです。友達になることです。黙って食事を済ますのは意味ありません。会合することを愉快にするのです。その間にロータリーの奉仕を勉強出来ます。何がお互いのお役に立つかを知るでしょう。地域社会のため、やるべきことを体得します。これが例会出席の最大の意味です。このための委員会があります。出席委員会。プログラム委員会。親睦委員会。S A A 等です。

ロータリーの第一歩は顔を合わせて話し合うことです。それは例会に出席することに始まります。例会で共通の話題をもって話し合ひましょう。現在日本には約8万の

ロータリアンがありますが、この人達と皆同様にお付き合い出来るのですから愉快ではありませんか、それも会ったことにより知り合いになって友達となれるのです。

お互いに多忙な職業生活がありますので、毎週例会に出席することが出来ぬこともあります。このときは他のロータリークラブの例会に出席することが出来ます。何時何処のクラブへも随意に出席することが出来、又相手クラブでも快く迎えてくれるのはロータリーです。これをメーク・アップと呼んでいます。このメーク・アップによって自分の例会欠席を補填することも出来ます。それよりも、各地に知り合いが出来ます。ロータリー世界を拓げることが出来ます。

ロータリー運動が固定渋滞しないためには常に新しい血の導入が必要です。新しい人の考え方が入ることによって運動に活が入れられます。これによってロータリー精神が受け継がれ新鮮な意欲をもった同志を期待することが出来ます。このために常時新しい人を受け入れる用意がなされています。会員増強委員会、職業分類委員会、会員選考委員会がこれに当ります。ロータリーを分かち

合う、という言葉がありますが、ロータリーの「他人のことを考えて、他人の手助けを考えて」ということを誰にも知って頂きたいためです。これには地域的に誰が居るのかを探り、我々の同志として似つかわしい人を会員になるよう努めましょう。

ロータリーを分かち合うと言いました。このためにはロータリーを知って貰わねばなりません。ロータリーは今、何を考え、何を為そうとしているか。何を計画し、何を期待しているか、を会員は知り度いものです。地域社会にそれを知らせて、ロータリーを理解して頂きたいものです。会報委員会はクラブの現況を知らせてくれます。雑誌委員会はロータリー思想と最近の動向を知らせてくれます。ロータリー情報委員会はロータリー情報の伝達を、広報委員会はその情報とクラブ活動の状況を広く知らせることを分担しています。

以上の外にも委員会がありますが、それぞれの分担があり、その責任によってクラブ活動は盛んとなります。クラブ活動がロータリー運動の根本であることを知って頂きたいものです。

（2）職業奉仕

ロータリアンは確立した一職をもっております。その職業は地域に役立つものである筈です。地域に役立つ職業であることをクラブで認め、その職業に立派に従事していることを認め、地域でその職を代表していることを認められて会員になって頂いたのですから、会員は自分の職業を地域に役立つよう努めて頂かねばなりません。クラブとして自分の職業を如何に役立たせるかということは、自身で自分の職業を役立たせることより難しいことかも知れません。ポール・ハリスは言っております。

「奉仕という言葉より役に立つという言葉の方がより控えめであって、はるかに適切であろう。ロータリーは実業人の団体なのだ。そして実業人というものは大地に足を踏まえていたいのだ。」

よく職業奉仕は判らない。職業奉仕は難しい。といわれますが、これほど身近かのものはないでしょう。自身の日常のことなんですから。自分の職業を地域に役立たせるよう考えて、それに努めることがそれなんです。一

々事例を示してそれをモデルにして、と考えることはないでしょう。職業は各自それぞれ異なります。従ってその具体的表現は皆異なるでしょう。自分のことは自分が一番よく知っておる筈です。むしろクラブでどう表わそうとするかが難しいことでしょう。

(3) 社会奉仕

地域に不幸な人がある限り、その不幸を除いて慰めてあげたいものです。泣いている子供に飴を与えてやる事が出来ます。子供の頭をやさしく撫でてやることもあります。物を与えて慰めるか、精神的に安心出来るよう考えるのか、その時の状態によります。ロータリーは此処から考えます。地域で何処に不幸があるかを探し、それを除くには何が必要かを究め、その方法を実施するところがあるかを調べ、あればそれが実施するよう注意し、ないときはその実施に当り、効果が挙がるよう努力し、効果が挙がったらその機関にそれを委ね、そして不幸の原因が除かれたか、期待されたような結果が得られたか

ロータリー奉仕の四大部門〈社会奉仕〉

を見定めましょう。これがロータリーの考え方です。

クラブでは地域の特性を調査して、常時継続的に社会奉仕の実践を必要とする部門に特別の委員会があります。都市安全委員会と青少年委員会とがあります。交通事故をなくそう、その対策は何か、それに常に当たってくれる機関の人達がよりよく活動出来るよう応援しようとの意図から委員会が設けられています。又青少年は次の時代の担い手であることを強く認識して、青少年の思想指導を考えて、青少年委員会があります。

ロータリーでは青少年対策と言うことに特に注意しています。一般青少年問題やボーイスカウト、ガールスカウトの育成支援等にも力を入れています。これらについては専門の機関がありますから、それらの活動が活潑になるよう応援します。ロータリーが独自に提唱している青少年奉仕には「ローターアクト」と「インターアクト」とがあります。何れも一定の年令の青少年男女子を対象としたもので、クラブがその地域内に結成を奨励しているものです。ローターアクトは1967年に提唱され、18才から28才までの青年によって構成されます。インターアクトは1961年に提唱され、大学課程へ進学直前の1～4

学年に在学中の学生を対象としています。二つながらその結成、後援して指導監督の責任は提唱ロータリークラブにあります。

社会奉仕はロータリー運動の一つの華です。対地域社会との接触を直接に持ち、ロータリーを地域に理解して貰える面が深いからです。それがため反面、地域より誤解されることもあります。注意いたしましょう。

(4) 国際奉仕

ロータリーの奉仕の眼は全世界にまで拡大されました。世界の何処かに貧困、無学、闘争のある限り、これの除去に努めて奉仕は続けられるでしょう。綱領に言う「世界的親交によって国際間の理解と親善と平和を推進する」ことが願いです。然し世界152の国と地域とに跨がっているロータリーにあっては、その間、人種が異い、国情が異い、宗教が異い、習慣が異いところがありますから、現実には困難なことが多々あります。この点日本のロー

タリーは温室育ちです。民族も同一、宗教も絶対の対立もなく、教育は、略平等に普及し、物の考え方にも極端に相違はない。従って平均的な人間像を誰も持っているであろう。この日本で現在のように治安の行き届いた時代、自由に物の言える時勢、こゝで血で血を洗う闘争はあり得ないと思われます。ところが外国の状況は大部異なるようです。国際理解ということの難しさを感じます。よくロータリーの提唱に賛成して、発展途上国への物資援助等に参与すると、その結果はどうなったのか皆目判らない、と嘆いている人があるのですが、日本人的感觉で相手を理解しようとすることの誤りです。当方の善意が立派に相手方に理解され、その結果見事な華を咲いたことを報告され、双方の親善の前進が表現されたということは多く聞いています。然し全部にこれを期待することは出来ません。相手を識るということは難しいことです。然し避けて通ることは許されません。辛棒強く繰返しアタックすることでしょう。

ポール・ハリスの言葉に「手を携えて共通の仕事に精出そう。意見の違う問題について論議することを避けよう。そうすれば友情の果実が得られる。」というのがあ

ロータリー奉仕の四大部門〈国際奉仕〉

ります。ロータリーでは伝統的に宗教と政治を論ずることを禁句としているが、宗教の問題を取り上げても、中東に永続している闘争を見てもお判りのことと思います。ポール・ハリスをしてこう言わしめるほど難しいものなのです。敢て言えば難しいということを理解してかゝらねばならない、とまで言えましょう。

この困難を乗り越えて、相互に理解することをロータリーは期待して、いくつかの提唱があります。

世界社会奉仕。(W・C・S)

世界社会奉仕は、ある国のロータリークラブ又は地区が、他の国のロータリークラブに援助を提供して、そのロータリークラブが立案した自国の生活水準の向上に役立つ計画の遂行に協力し、かくて双方の地域社会間に国際理解を増進させようとするプログラムであります。第255地区にあっても、この計画に参加して大いに成果を挙げております。

国際青少年交換

国際間に相手を定めて、ロータリークラブ又は地区間

に相互に青少年交換を計画して、双方の地区又はクラブ間に国際理解を増進させようとするプロジェクトであります。当地区にあつては、オーストラリアの地区と協定してこの計画の実績を高めております。

組合せ地区及びクラブプラン

国際ロータリーが定める地区にあるロータリークラブ間で、3年を期間として親善の実を挙げることを期待し、3年後には別の地区と同様の結び付きを計ろうとするプロジェクトであります。現在第255地区はアメリカジョージア州の地区とこの組合せになっており、第2年目を迎えております。

ロータリー財団

前に述べたように、1917～18年度の国際ロータリー会長アーチ・クランプの提唱によって、教育に奉仕するための基金としてロータリー資金制度が設けられましたが、後日ロータリー財団として信託財産となりました。1931年11月に信託宣言され、ロータリー財団管理委員会によって管理運営されております。

1947年、ポール・ハリスの逝去を期としてロータリー財団への関心は高まり、現在ロータリーの最重要な奉仕活動の一つとなっており、各種の奉仕活動が実行されております。我々は各種のプロジェクトを理解して、これに参加することが出来ますし、その性格を理解して、この資金協力を寄与したいものです。

ロータリー財団の名前は屢々聞くことがありましょう。その都度、その内容をよく理解して賛成協力して頂きたいものです。

ロータリーの組織と

ロータリアンの心構え

(1) ロータリーの組織

国際ロータリー (R・I)

国際ロータリーは略称をR Iと言っております。国際ロータリーは世界中のロータリークラブの連合体です。1977年9月現在で、17,364のロータリークラブが加盟しており、ロータリークラブの会員の総数は81万に達しております。

会長、副会長、理事の計17名で構成される理事会が管理主体となり、国際ロータリーの業務と管理にあたり、この決定は最終であるとされています。

理事会の下に事務局があり、アメリカ、イリノイ州、エバンストンにあります。事務総長以下約270名の職員が勤務しております。

ロータリーの組織

地区 (District)

直接管理の形式として、地区が編成され、地区にはガバナーが選挙されております。ガバナーはその任期中国際ロータリーの役員の職に就き、地区管理の責任を取ります。

地区奉仕委員会が組織されて、各奉仕部門を担当しており、地区諮問委員会が委嘱されて、ガバナーの諮問に当たります。

現在第255地区は、茨城、栃木の両県内のロータリークラブが属しており、クラブ数は56です。日立市内には日立クラブ、日立南クラブ、日立港クラブの3クラブがあります。

単位ロータリークラブ

日立ロータリークラブは鮎川以北の日立市の区域内に主要職場、又は居住地を持っている職業人の集まりです。

会長及び幹事による理事会が管理主体に当たります。又、会長、副会長、幹事、会計、S A Aによって役員会が構

成されます。理事会及び役員会の任務についてはクラブ細則に定められております。

常任委員会は会長の任命によって組織されますが、その分掌任務はそれぞれ規定されております。

クラブの各分掌は特別のものを除いて、一年任期で交替するのを原則としております。クラブ会員は全員何れかの委員会に配属されております。何等かの部門にあって、全員がロータリーのことに尽力することが建前になっておるのです。

(2) ロータリアンの心構え

ロータリークラブ会員は、ある定められた地域内で独立した職業に従事していることを認められた人達です。ロータリークラブ定款及びロータリークラブ細則に規定されたところを諒解し、ロータリー綱領を遵守することを承諾して会員になられた筈です。綱領を詳述することは略しますが、それぞれの職業を基として、相手の身になって、役立つように考え、地域社会の平和を願い、広

く世界平和を希求することをその務めとしております。

このためには会員相互に手を取り合うことが要求されます。顔見知りとなり、知り合いとなり、心を許す友達となり、他人の役に立つよう務めましょう。

まず、ロータリーの集會に出席しましょう。ロータリーの集會はクラブ例會があります。毎週定刻の例會に出席することに努力しましょう。定時に始まり定時に終る例會ですから例會に出席することは然程無理なことではありません。地区単位の集會に地区大会、地区協議會が開かれます。地区内に顔見知りを作るよい機會です。この集會に出席してロータリーの握み方、付き合い方等を知りましょう。集會に出席してロータリーに漬らなければロータリーのことは何も判りませんでしょう。

クラブには委員會があります。何れかの委員會に全會員が配属されます。ロータリーはクラブの活動と共に個人の思想を高揚することを望んでいます。その機會としての委員會ですから、委員會に参加することは重要です。所屬する委員會の分掌範圍をよく知って下さい。委員會の意義が判り、全体としての部門の意味を知ることは吾

々の生活態度における反省の機ともなります。

ロータリークラブは、その奉仕活動の資金を會員の承解の下に協力する寄附金に求めております。寄附金の意義を諒解して協力して下さい。

ニコニコ箱への協力。ロータリー財団への協力。米山記念獎學會への協力。突発的救恤金の協力等いろいろありますから、その意味を先ず知って協力して下さい。

何と言っても、ロータリーに馴れて下さい。そのためにはいろいろの機會がありましょう。先輩に聞くこと。文献を読むこと。そして考えること。然しロータリーは固いものではありません。各自の解釈によっていろいろの表現があります。地域の特性、クラブの歴史にも特異なところがあります。ロータリーの根本義に違ふことなく自由度の広いことがあるのは面白いところです。

(3) ロータリー用語

○地区ガバナー

地区は國際ロータリーの管理の目的でロータリークラブの組織されている地理的地域であって、この地区を直

接管理する役職の任に就くものをガバナーと言います。

○地区資金、地区基金

地区を管理、運営の必要な経費をクラブ会員は負担します。これを地区資金と言います。地区の事業資金として、青少年交換、世界社会奉仕、等の資金があります。これも亦クラブ会員の協力によるのです。これを地区基金と言います。資金も基金もクラブ会費より支出されません。

○ガバナーの分区代理

地区内の近くのクラブを分区として、ガバナーの管理を簡易になるよう計画されています。この分区のクラブの直接管理としてガバナーより分区代理が委嘱されます。分区代理には管理上の責任はありませんが、ガバナーの意を受けて、各クラブに連絡します。

分区内で集会をもつことがあります。インターシティー、ゼネラル、フォーラムと呼ばれるものです。分区内のロータリアンと一室に参加してロータリーについて話し合う集会でして、この集会は分区代理の招集で行われ

ます。

○ロータリーの記章

国際ロータリーは、ロータリーの名称と、ロータリーの記章については保護に関心をもっています。

ロータリーの公式記章は6本の軸と24のギアと1つの楔穴とを持った歯車です。その各部の比例寸法については詳細規定されています。

○メークアップ

出席補填と訳されています。自分のクラブの例会に出席できなかったときの救援策として、他クラブの例会に出席して、その欠席を補填することです。

ロータリアンは何処のロータリークラブの例会へもメークアップすることが出来ます。

○職業分類名

ロータリークラブの地域内で認められる実業及び専門職業活動を表わすものであって、クラブはこの職業名を列記した職業分類表を持っています。この分類名に従

って会員の入会が認められます。

職業分類名は地域によって相違するところがありますから、クラブ毎に異なるものがあるのは当然です。同類の職業でも細分されることもあります。国際ロータリーはこれを重視して種々の規定を設けております。

一業種一人の制度はこの職業分類によって保持されます。ロータリークラブは何れの職業にも偏らない会員組織を維持することを嚴重に期待されておるのです。

終りに

ロータリーは難しいものではありません、楽しいロータリーを見出して下さい。

互いに顔を合わせて心からの話し合いが出来るという親睦から入ってゆきましょう。生きる地域を同じくする幸せを感じ、裸の付き合いの出来る仲間を得られるよう祈ってロータリーの集会に参加しましょう。

最後にポール・ハリスの言葉を記します。「若者達が実社会に身を投じたとき、時折抑え難い淋しさに襲われた。このとき友情を分かち合い、夫々成功という金的を目指して集団を形成せしむることが出来た。これは主として職業上の相互援助であったが、互いに力の及ぶ限り相談し後援し合った。この際同じ職業の人が二人おらなかったということは、相互援助を一層円滑にしたものである。」

本稿に引用した文献を次に列記いたします。

ロータリークラブ定款及細則

1975年手続要覧

1974年公式名簿

ロータリー日本五十年史

米山梅吉訳、ロータリーの理想と友愛

佐藤千寿著、ようこそロータリーへ

佐藤千寿著、ポール・ハリスの言葉から

田中達次郎著、ロータリー奉仕の構図

U. I. U.
6059
-タリー文庫

[不明な印]

こんにちわロータリー

発行

昭和52年10月7日
日立ロータリークラブ

茨城県日立市幸町1-9-7.
日立商工会議所内 (☎ 0294-22-0128)